

『ホワイトハウスのサンドウィッチ』

文 葛西得男

Text by Tokuno Kasai

「保育」の原点

私 はレーガン、ブッシュファミリー、ブッシュジュニア、クリントン政権に至る各々政権のホワイトハウスでのパーティーに参加させて頂く機会に恵まれました。

すべてレーガン大統領の秘書室が手配してくださったものなのです。ホワイトハウスのセキュリティは世界の中でも一番厳しいと言っても過言では無いと思います。



ブルールームにて(クリントン大統領と)

「あたたかい心を育てる運動」の海外対応窓口を担当させて頂いていた関係で、ニューヨークの国連本部からオーストリアのウィーン会議が行われた「会議は踊る」で有名なシェーンブルン宮殿、その他セキュリティが厳しいとされる施設に色々とお邪魔する機会を得ましたが、その中でもホワイトハウスのセキュリティの厳重さは群を抜いていました。

例えば、大統領がNYに来られる時はNYの基幹道路のすべてが規制され通行禁止になり道路上のゴミ箱はすべて撤去され、あらゆるものがすべてチェックされて厳しい限りで入ります。車は一台一台番号、ドライバーの経歴に至るまで念入りにチェックされる物々しい警備です。アメリカは今も戦争状態なのだと感じさせられる瞬間です。

車のチェックが終わるといよいよ入場する人物のチェックとなります。招待状のチェック、パスポートのチェック、特別な機械によるボディチェック。何でも空港のセキュリティマシンの10倍くらいの精度があるというマシンで入念にチェックされます。

一人に一時間くらい掛かったように記憶しています。ようやく中に入ると儀仗兵による歓迎の儀式が待っています。外の世界と中とはまさに天国と地獄の差があるように感じられます。あたたかい眼差し、仕草、儀仗兵の背筋はピンと真っ直ぐに伸びたまま、正に敬意を十分に表す敬礼で私たちを迎えてくれます。

私などは本当に気恥ずかしく頭を下げて彼らの前を通りすぎるのが精一杯でした。そして、写真の撮影などには、嫌な顔一つせず対応してくれ、思わず

緊張が走ります。

大統領が来られパーティーは粛々と進行していきます。当時、私は大統領と少しお話しさせて頂くことが一つの楽しみでありました。

そして、一人ずつ名前を呼ばれて大統領との記念撮影が始まり、カクテルタイムに入るので、この時に出される軽食が実に美味しいのです。

中でもアメリカから集められたという食材を使った「サンドウィッチ」。ハム・野菜・シーフード・チーズ・ミックス、それぞれ一口サイズのサンドウィッチ。私の今まで食べたサンドウィッチの中で順番を決めるとすればこれが一番だ

のがすべてチェックされて厳しい限りで入ります。車は一台一台番号、ドライバーの経歴に至るまで念入りにチェックされる物々しい警備です。アメリカは今も戦争状態なのだと感じさせられる瞬間です。

車のチェックが終わるといよいよ入場する人物のチェックとなります。招待状のチェック、パスポートのチェック、特別な機械によるボディチェック。何でも空港のセキュリティマシンの10倍くらいの精度があるというマシンで入念にチェックされます。

一人に一時間くらい掛かったように記憶しています。ようやく中に入ると儀仗兵による歓迎の儀式が待っています。外の世界と中とはまさに天国と地獄の差があるように感じられます。あたたかい眼差し、仕草、儀仗兵の背筋はピンと真っ直ぐに伸びたまま、正に敬意を十分に表す敬礼で私たちを迎えてくれます。

私などは本当に気恥ずかしく頭を下げて彼らの前を通りすぎるのが精一杯でした。そして、写真の撮影などには、嫌な顔一つせず対応してくれ、思わず

と書いています。中でもシユリンプの入ったシーフードのサンドウィッチが最高に美味しいのです。

このサンドウィッチを味わうまでに入り口のセキュリティから3時間の時間が経っています。

私の人生の中で一番美味なサンドウィッチ。レーガン大統領に初めてお会いした時から7回程、ホワイトハウスを訪問させて頂きましたが、サンドウィッチの味は変わることはありませんでした。人生最高のホワイトハウスのサンドウィッチ、もう一度食べたいものだと思います。



Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。1972年、追手門学院大学卒業後、米国ボストンカレッジに留学。1975年に帰国後、アップリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人 松福会 理事長に就任。松福会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アップリカ」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。アップリカ葛西 副社長時代に国連UNEP環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。

子どもたちに心を、お年寄りに環境を



マザーシップが大切にすること

マザーシップでは、保育園がお子さんの成長にとって最もふさわしい生活の場であるよう、**3つ**のことを大切にします。

1.大切にします

質の高い保育環境の整備とあたたかいかかわり

2.大切にします

保育のパートナーとしての保護者の皆さんとの協働

3.大切にします

地域社会のさまざまな人々との出会いや社会資源の活用



松福会は、子どもたちとお年寄りにやさしい社会をつくるため、高齢者介護施設アップリカとマザーシップ保育園を運営しています。

社会福祉法人 松福会

〒558-0021 大阪市住吉区浅香1丁目8番38号
TEL: 06-6696-1177 (代)
FAX: 06-6696-1273
E-MAIL: info@apricare.com http://www.apricare.com

マザーシップ船場保育園

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町2-1-9 船場メディカルビル2F
TEL: 06-4964-0717
FAX: 06-4964-0710

●マザーシップ船場東保育園 ●マザーシップ新梅田保育園
●マザーシップ西宮北口保育園 ●マザーシップ保育園森の家